学校番号	307

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）						
副教材	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ

- 書道Ⅰで学んだことをもとにしながら、より幅広い表現力を養い、自己を表現するための作品作りを行います。
- 様々な古典を鑑賞したり、授業で制作した自分の作品や他の人の作品を見て、互いにアドバイスをしながら、作品を高め、感性や鑑賞力を向上しましょう。
- 少し難しい用筆法や古典に挑戦し、技術の向上を図るとともに、完成したときの達成感を味わいましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を養うとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：書への関心・意欲・態度	b：書表現の構想と工夫	c：創造的な書表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的な活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に創作活動に取り組もうとする。	様々な分野の作品の書表現にふれ、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身につけあらわしている。	文字や書の伝統と文化について理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	仮名の書	・寸松庵色紙の臨書 ・形式、変体仮名、和歌の意味を学習する。 ・料紙に書く ・作品集にまとめる。	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○ ○	a，寸松庵色紙の美しさとその技法に関心を持ち、表現方法を高めようとしている。 b，作品構成の余白の美と線質の力強さを感じ取り、自らの作品の表現を工夫している。 c，用筆法や作品構成の妙を理解し、古典の技法を表現している。 d，仕上がった作品を小冊子にまとめることで、より効果的に表現でき、鑑賞しやすくなることを理解し、そのよさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字の書の学習	・石鼓文の臨書 用筆法、結構を学習する作品制作（半切１／２） ・　古代文字(篆書)を使った作品制作（半切１／４）一字と注釈文を組み合わせた作品 ・木簡の臨書 用筆法、結構を学習する作品制作（半切１／２） ・漢字一字を使った作品制作（半切１／４）	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a，篆書、隷書の美とその表現方法について関心を持ち、その表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b，篆書、隷書特有の字形や用筆法を理解し、表現を工夫している。 c,逆筆や波磔などの用筆法を身につけ、それを活かして表現している。 d,線質、墨色、墨量や線の太細、余白などで作品が変化することを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2学期	漢字仮名交じりの書の学習	・漢字仮名交じりの書の作品制作 ・準備体操 半紙に与えられた課題で作品を様々な形式（15通り）で書く ・半切１／３に作品制作 ・自分の好きな歌や文章で書く ・字形に主眼をおいた形式で書く ・ 全体構成に主眼をおいた形式で書く ・相互批評会 ・ 修学旅行の思い出を作品に書く ・相互批評会	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	ａ，漢字と仮名の調和と線質の関係について関心を持ち、表現方法を高めようとしている。 ｂ，漢字と仮名の字形や文字の大きさなどが全体構成に関わることを理解し、表現を工夫している。 ｃ,創造的な諸表現をするために用具、用材を工夫したり、文字群と余白の関係を理解し、全体構成を考えた表現の技能を身に付け表している。 ｄ,互いの作品を鑑賞、相互批評し、そのよさを創造的に味わっている。	
	漢字の書の学習	・草書（十七帖、書譜）の臨書 用筆法、結構などを学習する 作品制作(半切１／２) ・行書（祭姪文稿、虹県詩巻）の臨書 用筆法、結構などを学習する 作品制作（半切） ・鑑賞会	○	○	○	○	ａ，草書、行書について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ，草書の字形のくずし方や連綿の仕方を理解し、その技術の習得に努めている。 ｃ，祭姪文稿や虹県詩巻の線の太細の変化、結構のとり方の違いをよく理解し、表現を工夫している。 ｄ，半切に書くことで全体構成や墨量の変化、行の流れなどで作品が変化することを理解し、そのよさを味わっている。	
3学期	古典の臨書	2年間の集大成として5体（楷･行･草･篆･隷）の中から、1作品を選び、半切に仕上げる。	○	○	○	○	a, 古典の美とその技法に関心を持ち、積極的に表現方法を高めようとしている。 ｂ，漢字の書の美に対する感性を働かせて、自らの意図に基づいて	

							表現を構想し工夫している。 ｃ,五書体（楷書、行書、草書、篆書、隷書）の用筆法、運筆法を理解し、身に付け表している。 ｄ,日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について関心を持ち、そのよさや美しさを感じ取ろうとしている。	
	作品集を作る	・　半紙１／４に作品を制作する。 ・語句の選定 ・草稿作成 ・作品制作後押印 ・額に入れ、千代紙英字新聞などを使って、飾り付ける。 ・鑑賞会	○	○	○	○	ａ，語句の選定や作品の構想から完成にいたる創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 ｂ，書のよさや美しさを感じ取り、自分の作品に活かし、表現を工夫している。 ｃ,創造的な書表現をするために線質、字形、全体構成などの表現の技能を身に付け表している。 ｄ,互いの作品を鑑賞、相互批評し、そのよさを創造的に味わっている。	

※　表中の観点について　ａ：書への関心･意欲･態度　　ｂ：書表現の構想と工夫
　　ｃ：創造的な書表現の技能　　ｄ：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。